LIXIL　アルミ多段柱　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

●フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

＜施工上のご注意＞

注意

●現場でブラケットや継手を組付け･締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損･飛散事故の原因になります。
●柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ネジ：1.0N･m±0.3N･m(10±3kgf･cm)
φ5ネジ：3.0N･m±0.5N･m(30±5kgf･cm)

＜基礎工事について＞

注意

●コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。
●指定基礎寸法は必ず守ってください。強度低下の原因となります。

■梱包明細表

【1】柱セット

名　称	略　図	員　数
柱		1

【2】RF上下ブラケットセット

名　称	略　図	員　数
上ブラケット（ライシス用）		1
下ブラケット（ライシス用）		1
柱キャップ		1
ブラケット裏板		2
【2-1】φ5×10 トラスタッピン3種（D=8）		1
【2-2】φ5×16 サラタッピンネジ3種（D=10）		1
【2-3】φ4×10 トラスタッピンネジ3種（D=8）		2
下ブラケット用クッション		1
取付説明書〈C440〉	−	1

【3】PF上下ブラケットセット、プレスタ上段用、下段用

名　称	略　図	員　数		
		上下	上段用	下段用
上ブラケット（プレスタ用）		1	1	−
上ブラケット（ライシス用）		−	−	1
下ブラケット（プレスタ用）		1	−	1
下ブラケット（ライシス用）		−	1	−
柱キャップ		1	1	1
ブラケット裏板		2	2	2
【3-1】φ5×10 トラスタッピン3種（D=8）		1	1	1
【3-2】φ5×16 ナベタッピンネジ3種（D=9）		1	−	1
【3-3】φ5×16 サラタッピンネジ3種（D=10）		−	1	−
【3-4】φ4×10 トラスタッピンネジ3種（D=8）		2	2	2
下ブラケット用クッション		−	1	−
取付説明書〈C440〉	−	1	1	1

【4】中間ブラケットセット

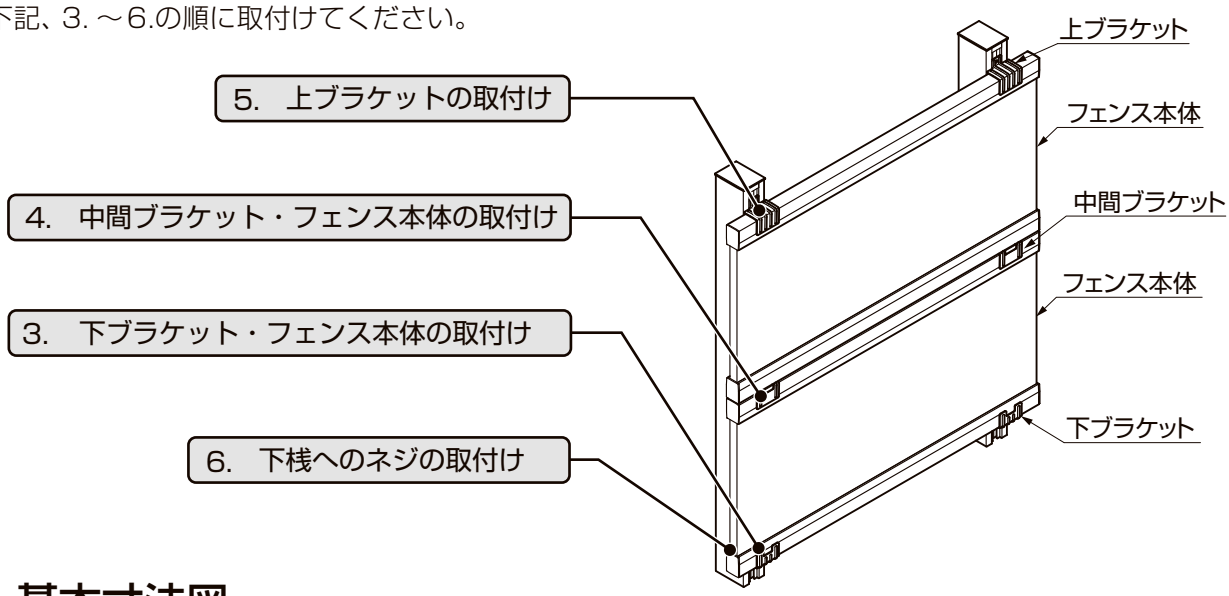
名　称	略　図	員　数		
		RF	PF	A
中間ブラケット（ライシス用）		1	−	−
中間ブラケット（プレスタ用）		−	1	−
中間ブラケット		−	−	1
ブラケット裏板		1	1	1
【4-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種（D=8）		1	1	1
すきま隠し材		2	2	2

【5】継手セット

名　称	略　図	員　数				
		RF	PF (A)	PF (B)	A	B
上桟ストレートジョイント （ライシス用）		1	−	−	−	−
上桟ストレートジョイントA （プレスタ用）		−	1	−	−	−
上桟ストレートジョイントB （プレスタ用）		−	−	1	−	−
上桟ストレートジョイントA		−	−	−	1	−
上桟ストレートジョイントB		−	−	−	−	1
下桟ストレートジョイント （ライシス用）		1	−	−	−	−
下桟ストレートジョイントA （プレスタ用）		−	1	−	−	−
下桟ストレートジョイントB （プレスタ用）		−	−	1	−	−
下桟ストレートジョイントA		−	−	−	1	−
下桟ストレートジョイントB		−	−	−	−	1
【5-1】φ4×10 トラスタッピンネジ1種（D=8）		4	4	4	4	4

1. 取付けの流れ

●下記、3. ～6.の順に取付けてください。



2. 基本寸法図

ポイント

●プレスタフェンス8K型 傾斜地仕様の場合は埋込み寸法が異なります。
プレスタフェンス8K型 傾斜地仕様のフェンス本体に同梱されている取付説明書の埋込み寸法で施工してください。

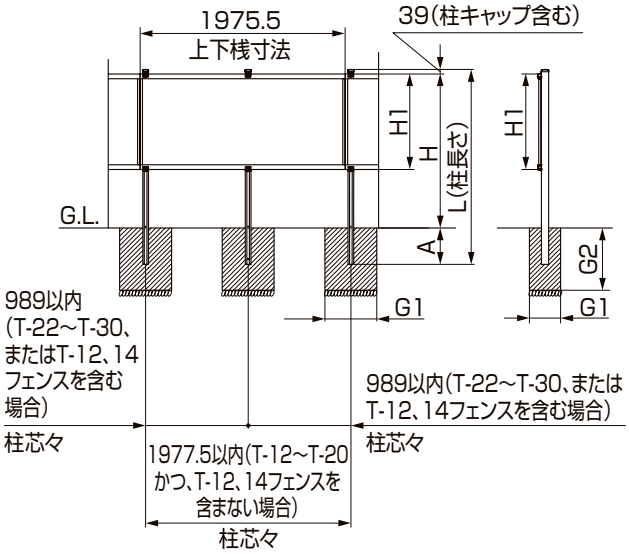


図2-1　1段施工基本図

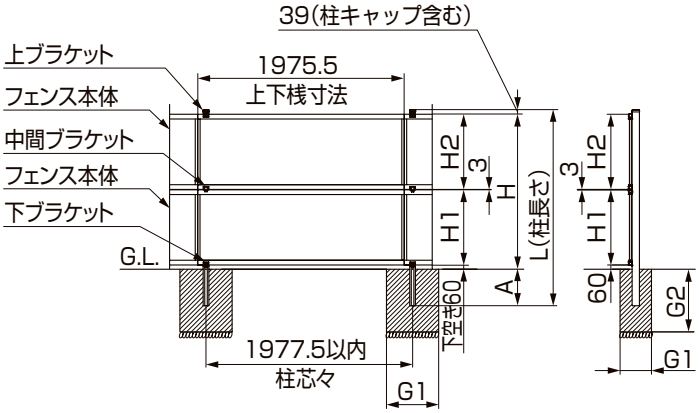


図2-2　2段施工基本図

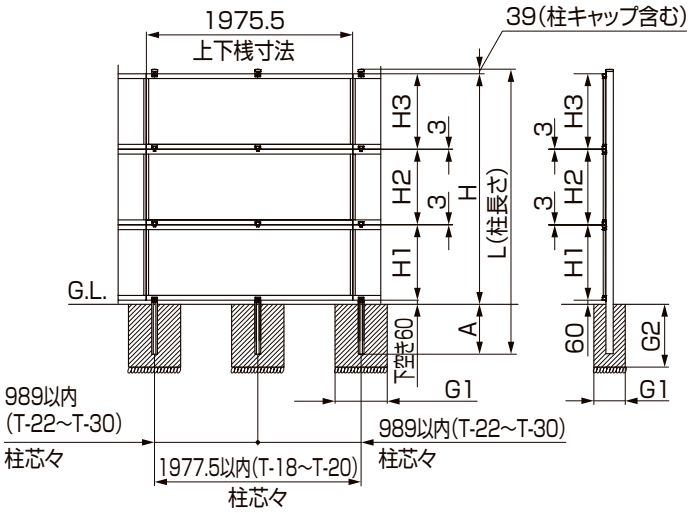


図2-3　3段施工基本図

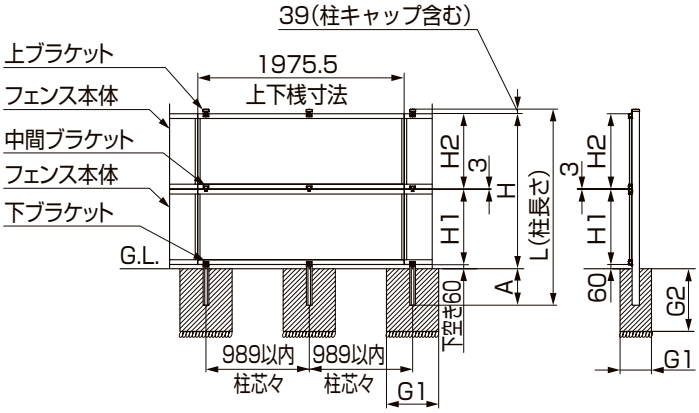


図2-4　T-12、14フェンスを含む場合の
2段施工基本図

C440_201504C

2. 基本寸法図　つづき

表2-1　1段施工基本寸法表

呼 称	H	L	H1	A	G1	G2	G3
T-12	1123	1459		300	400	400	300
T-14	1303	1639		300	400	400	300
T-16	1503	1889	520	350	500	500	300
T-18	1683	2069	540	350	500	500	300
T-20	1883	2319	720	400	500	600	300
T-22	2046	2482	920	400	500	600	300
T-24	2206	2719.5	1120	477	500	600	300
T-26	2406	3019.5	1320	577	600	700	300
T-28	2606	3219.5		577	600	700	300
T-30	2806	3419.5		577	600	700	300

※1 T-12サイズにT-12、T-14フェンスの取付け不可
※2 T-14サイズにT-14フェンスの取付け不可

アルメッシュフェンス、ハイミレーヌＲフェンスのＴ6を含む場合は[表2-3　2段施工基本寸法表]をご覧ください。

表2-2　2段施工基本寸法表

呼 称	H	L	H1･H2	H1･H2	A	G1	G2	G3
T-12	1103	1459	520	520	320(埋込基準線20mm上)	500	500	300
T-14	1303	1639	520	720	300	500	500	300
T-16	1503	1889	520	920	350	500	500	300
			720	720				
T-18	1703	2069	520	1120	330(埋込基準線20mm下)	500	500	300
			720	920				
T-20	1903	2319	520	1320	380(埋込基準線20mm下)	500	500	300
			720	1120				
			920	920				
T-22	2103	2428	720	1320	343(埋込基準線57mm下)	500	600	300
			920	1120				
T-24	2303	2719.5	920	1320	380(埋込基準線97mm下)	500	600	300
			1120	1120				
T-26	2503	3019.5	1120	1320	480(埋込基準線97mm下)	600	700	300
T-28	2703	3219.5	1320	1320	480(埋込基準線97mm下)	600	700	300

表2-3　2段施工基本寸法表

呼 称	H	L	H1･H2	H1･H2	A	G1	G2	G3
T-12	1123	1459	520	540	300	500	500	300
	1143		540	540	280(埋込基準線20mm下)			
T-14	1323	1639	540	720	280(埋込基準線20mm下)	500	500	300
T-16	1523	1889	540	920	330(埋込基準線20mm下)	500	500	300
T-18	1723	2069	540	1120	310(埋込基準線40mm下)	500	500	300
T-20	1923	2319	540	1320	360(埋込基準線40mm下)	500	500	300

アルメッシュフェンス、ハイミレーヌＲフェンスのＴ６を含む場合は[表２-５ ３段施工基本寸法表]をご覧ください。

表2-4 3段施工基本寸法表

呼 称	H	L	H1･H2･H3	H1･H2･H3	H1･H2･H3	A	G1	G2	G3
T-18	1626	2069	520	520	520	407(埋込基準線57mm上)	500	500	300
T-20	1826	2319	520	520	720	457(埋込基準線57mm上)	600	600	300
T-22	2026	2482	520	520	920	420(埋込基準線20mm上)	500	600	300
			520	720	720				
T-24	2226	2719.5	520	520	1120	457(埋込基準線20mm下)	500	600	300
			520	720	920				
			720	720	720				
T-26	2426	3019.5	520	520	1320	557(埋込基準線20mm下)	600	700	300
			520	720	1120				
			520	920	920				
			720	720	920				
T-28	2626	3219.5	520	720	1320	557(埋込基準線20mm下)	600	700	300
			520	920	1120				
			720	720	1120				
			720	920	920				
T-30	2826	3419.5	520	920	1320	557(埋込基準線20mm下)	600	700	300
			520	1120	1120				
			720	720	1320				
			720	920	1120				
			920	920	920				

表2-5 3段施工基本寸法表

呼 称	H	L	H1･H2･H3	H1･H2･H3	H1･H2･H3	A	G1	G2	G3
T-18	1646	2069	520	520	540	387(埋込基準線37mm上)	500	500	300
	1666		520	540	540	367(埋込基準線17mm上)			
	1686		540	540	540	350			
T-20	1846	2319	520	540	720	437(埋込基準線37mm上)	600	600	300
	1866		540	540	720	417(埋込基準線17mm上)			
T-22	2046	2482	520	540	920	400	500	600	300
	2066		540	540	920	380(埋込基準線20mm下)			
	2046		540	720	720	400			
T-24	2246	2719.5	520	540	1120	437(埋込基準線40mm下)	500	600	300
	2266		540	540	1120	417(埋込基準線60mm下)			
	2246		540	720	920	437(埋込基準線40mm下)			
T-26	2446	3019.5	520	540	1320	537(埋込基準線40mm下)	600	700	300
	2466		540	540	1320	517(埋込基準線60mm下)			
	2446		540	720	1120	537(埋込基準線40mm下)			
	2446		540	920	920				
T-28	2646	3219.5	540	720	1320	537(埋込基準線40mm下)	600	700	300
	2646		540	920	1120				
T-30	2846	3419.5	540	1120	1120	537(埋込基準線40mm下)	600	700	300
	2846		540	920	1320				

注 意

●柱はブロックに施工しないでください。高尺のため強い風圧を受け、飛散事故の原因になります。

●基礎が沈降したり傾いたりすることがあるため、必ず割栗石を敷いてください。

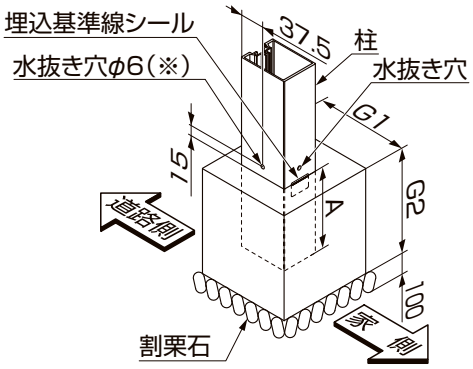


図2-4　独立基礎の場合

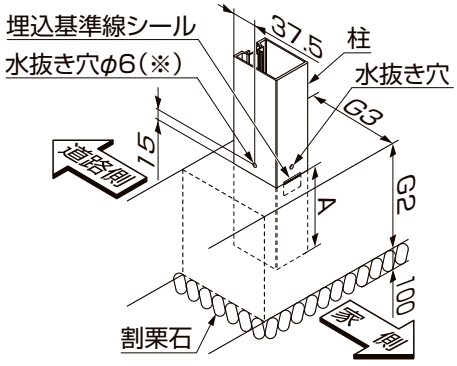


図2-5　連続基礎の場合

ポイント

●埋込み寸法はフェンスの高さ、組合わせによって異なります。

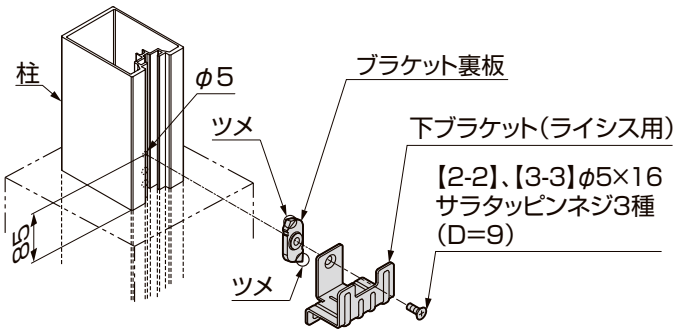
●埋込みは、埋込基準線上面を基準にP4.5の施工基本寸法を参照して行なってください。(表2-1、表2-2、表2-3参照)

●埋込み基準線より浅くまたは深く埋め込む場合は水抜き穴をあけてください。(※)

●埋込み基準線より浅く埋め込んだ後は、埋込基準線シールをはがしてください。

3. 下ブラケット・フェンス本体の取付け

3-1 ライシス・ハイミレーヌR・アルメッシュフェンスが下段の場合



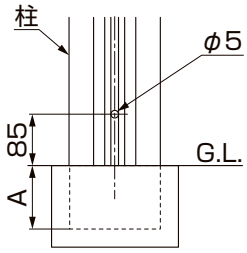


図3-1

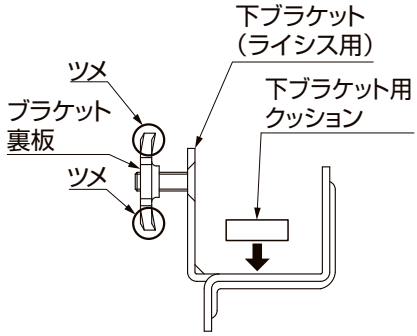


図3-2

①下ブラケット用クッションを下ブラケットに貼付け、ブラケット裏板を【2-2】、【3-3】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を下ブラケットに向けてください。(図3-2参照)

②図のA+85mmにφ5mmの穴加工を行ってください。(図3-1参照)

ポイント

●必ずφ5mmの穴をあけてください。下ブラケットはこの穴をあけないと取付けられません。

③下ブラケットを柱に【2-2】、【3-3】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【2-2】、【3-3】のネジを回した時、裏板が回転し、下ブラケットの上辺と平行になる位置で固定することを確認してください。

④フェンス本体を下ブラケットにのせてください。

3-2 プレスタフェンスが下段の場合

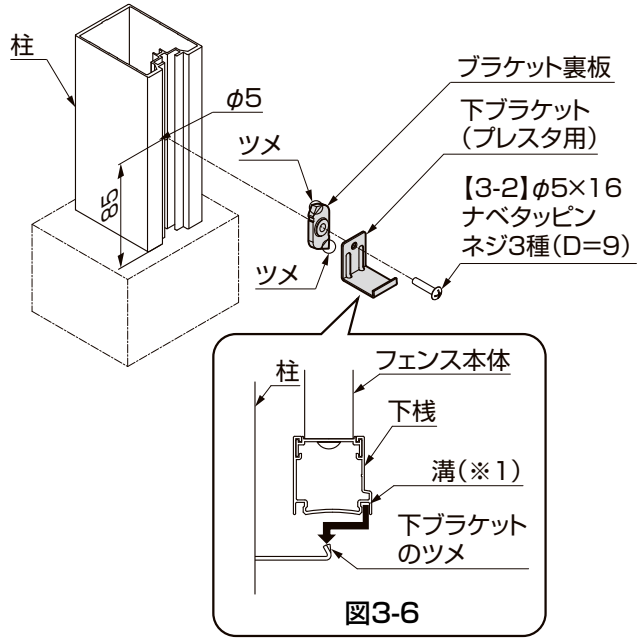


図3-6

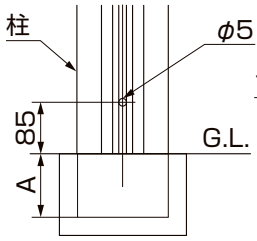


図3-4

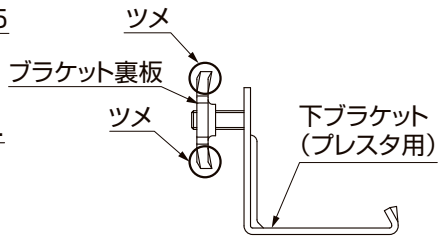


図3-5

①下ブラケットとブラケット裏板を【3-2】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を下ブラケットに向けてください。(図3-5参照)

②図のA+85mmにφ5mmの穴加工を行ってください。(図3-4参照)

ポイント

●必ずφ5mmの穴をあけてください。下ブラケットはこの穴をあけないと取付けられません。

③下ブラケットを柱に【3-2】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【3-2】のネジを回した時、裏板が回転し、下ブラケットの上辺と平行になる位置で固定することを確認してください。

④下桟の溝(※1)に下ブラケットのツメが入るようにフェンス本体を取付けてください。(図3-6参照)

ポイント

●一度ツメが下桟の溝に入ると抜けづらくなるため、しっかりと位置を確認してフェンス本体を取付けてください。

●フェンス本体を外す際は下桟小口面を横方向からゴムハンマー等で叩いて下ブラケットのツメを外し、フェンス本体を持ち上げて取り外してください。

4. 中間ブラケット・フェンス本体の取付け

4-1 ライシス･ハイミレーヌR・アルメッシュフェンスが下段の場合

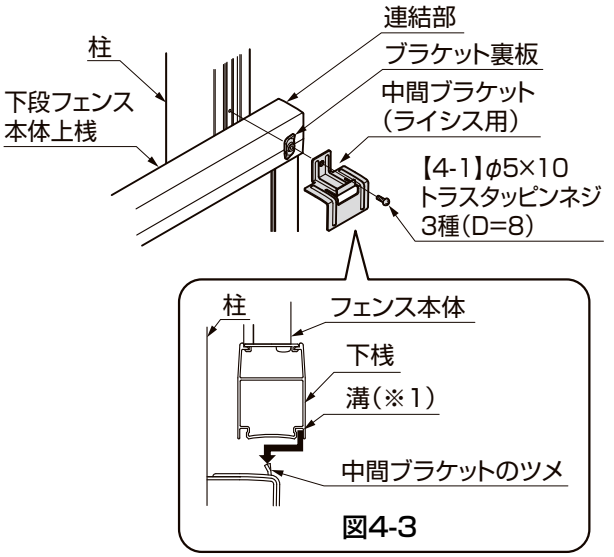


図4-3

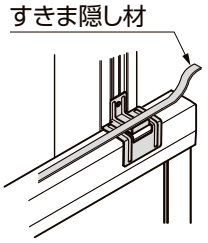


図4-1

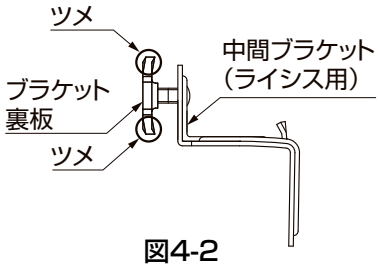


図4-2

①中間ブラケットとブラケット裏板を【4-1】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を中間ブラケットに向けてください。（図4-2参照）

②①のブラケット裏板を柱の溝に入れ、中間ブラケットをフェンス本体上桟に上から押しつけながら 【4-1】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【4-1】のネジを回した時、裏板が回転し、中間ブラケットの上辺と平行になる位置で固定することを確認してください。

③フェンス本体上桟の上部にすきま隠し材を貼付けてください。（図4-1参照）

ポイント

●すきま隠し材は上段フェンスを設置する前に取付けてください。

④上段フェンスを下桟の溝（※1）に中間ブラケットのツメが入るように取付けてください。（図4-3参照）

ポイント

●図4-3の下桟はライシスフェンスですが、ライシスフェンス以外でも同様の納め方です。
●一度ツメが下桟の溝に入ると抜けづらくなるため、しっかりと位置を確認してフェンス本体を取付けてください。
●フェンス本体を外す際は下桟小口面を横方向からゴムハンマー等で叩いて下ブラケットのツメを外し、フェンス本体を持ち上げて取り外してください。

4-2 プレスタフェンスが下段の場合

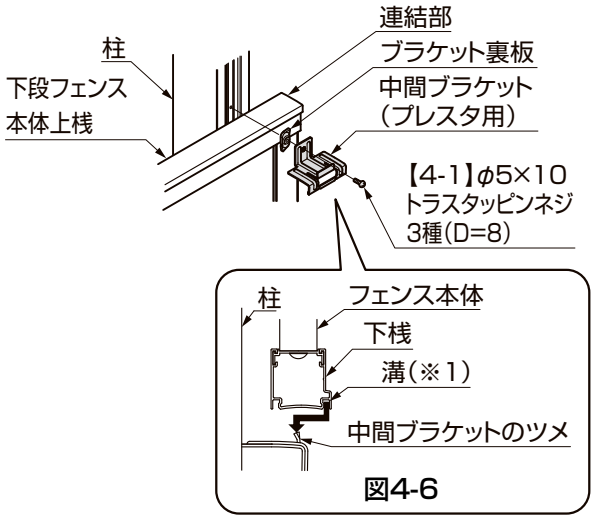


図4-6

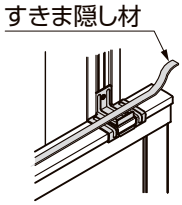


図4-4

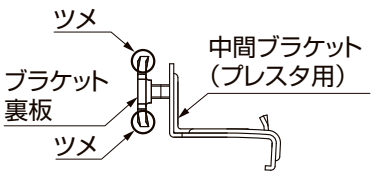


図4-5

①中間ブラケットとブラケット裏板を【4-1】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を中間ブラケットに向けてください。（図4-5参照）

②①のブラケット裏板を柱の溝に入れ、中間ブラケットをフェンス本体上桟に上から押しつけながら 【4-1】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【4-1】のネジを回した時、裏板が回転し、中間ブラケットの上辺と平行になる位置で固定することを確認してください。

③フェンス本体上桟の上部にすきま隠し材を貼付けてください。（図4-4参照）

ポイント

●すきま隠し材は上段フェンスを設置する前に取付けてください。

④上段フェンスを下桟の溝（※1）に中間ブラケットのツメが入るように取付けてください。（図4-6参照）

ポイント

●図4-6の下桟はプレスタフェンスですが、プレスタフェンス以外でも同様の納め方です。
●一度ツメが下桟の溝に入ると抜けづらくなるため、しっかりと位置を確認してフェンス本体を取付けてください。
●フェンス本体を外す際は下桟小口面を横方向からゴムハンマー等で叩いて下ブラケットのツメを外し、フェンス本体を持ち上げて取り外してください。

4. 中間ブラケット・フェンス本体の取付け　つづき

4-3 ハイミレーヌR・アルメッシュフェンスのみの場合

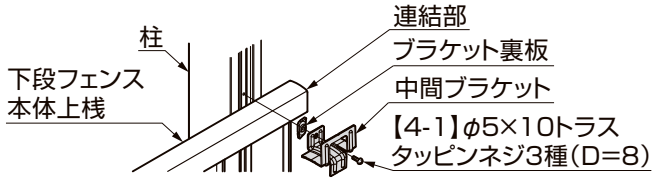


図4-7

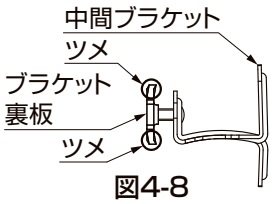


図4-8

①中間ブラケットとブラケット裏板を【4-1】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を中間ブラケットに向けてください。(図4-8参照)

②①のブラケット裏板を柱の溝に入れ、中間ブラケットをフェンス本体上桟に上から押しつけながら【4-1】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【4-1】のネジを回した時、裏板が回転し、中間ブラケットの上辺と平行になる位置で固定することを確認してください。

③フェンス本体上桟の上部にすきま隠し材を貼付けてください。(図4-7参照)
④上段フェンスを中間ブラケットにのせてください。

5. 上ブラケットの取付け

5-1 ライシス・ハイミレーヌR・アルメッシュフェンスが上段の場合

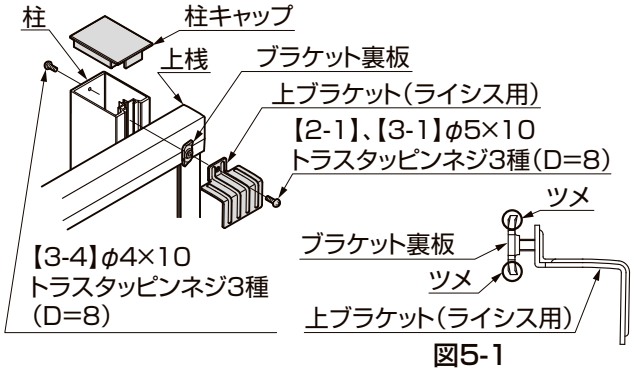


図5-1

①上ブラケットとブラケット裏板を【2-1】、【3-1】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を上ブラケットに向けてください。(図5-1参照)

②①のブラケット裏板を柱の溝に入れ、上ブラケットをフェンス本体上桟に上から押しつけながら【2-1】、【3-1】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【2-1】、【3-1】のネジを回した時、裏板が回転し、上ブラケットの上辺と平行になる位置で固定することを確認してください。

③柱キャップを柱にかぶせ、【3-4】で固定してください。

5-2 プレスタフェンスが上段の場合

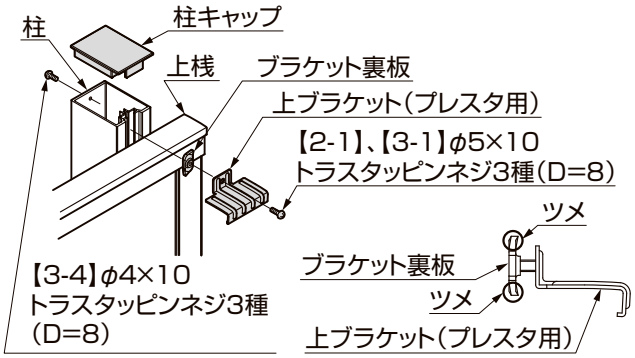


図5-2

①上ブラケットとブラケット裏板を【2-1】、【3-1】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を上ブラケットに向けてください。(図5-2参照)

②①のブラケット裏板を柱の溝に入れ、上ブラケットをフェンス本体上桟に上から押しつけながら【2-1】、【3-1】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【2-1】、【3-1】のネジを回した時、裏板が回転し、上ブラケットの上辺と平行になる位置で固定することを確認してください。

③柱キャップを柱にかぶせ、【3-4】で固定してください。

6. 下桟へのネジの取付け

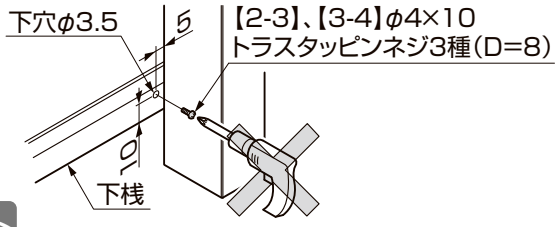


図6-1

ポイント

●フェンス1スパンのみでかつ、図6-1のパターンで施工する場合は【2-3】、【3-4】を下桟へ取付けてください。
●取付けの際は電動工具などは使用しないでください。

取説コード
C440

JZZ626589C
201401A_1047
201607D_1047